

減温塔など、主要設備の搬入・据付が進められています。



大型トラックによる搬入の様子

更新する設備機器の搬入と据付作業が引き続きおこなわれました。上の写真は、主要設備のひとつである「減温塔」が搬入された際の写真です。大型の機器は写真のように分けて運び込まれ、据付の際はクレーンで吊るしながら施設の中でつなぎ合わせます。



施設内に据付された減温塔

減温塔はどんな設備？

ごみを燃やすと、「排ガス」という高温のガスが発生します。

減温塔では、ボイラーで熱回収した排ガスに水を吹き付けて、温度を 180℃ 近くまで下げます。排ガスを急激に冷やすことで、ダイオキシン類などの有害物質の再合成を防いでいます。

ほかにも様々な設備が搬入されています。



排ガスを処理設備へ通す「ダクト」



ごみを燃やした灰を運ぶ「灰出装置」

水管の取付をおこない、ボイラーの水圧試験を実施しました。



取り付けられた水管

左の写真は、ボイラー内側の水管の取付状況の様子です。この水管を流れる水が排ガスの熱を回収して蒸気になり、発電に利用されます。

ボイラーは長寿命化工事で新設する設備のため、既存のスペースへ設置できるように形や長さを特別に設計した水管が使用されています。

6月末には水圧試験をおこない、接合部の漏水の有無を確認しました。